

F i t システム協議会

一般社団法人格の早期取得を目指す

F i t システム協議会は2015年度内をメドに、一般社団法人格の取得を目指す。現在、幹事委員となっている7会員(久留米運送、札幌通運、第一貨物、トナミ運輸、濃飛倉庫運輸、岡山県貨物運送、近物レックス)が設立時社員となる方向で調整を進め、早くも今年3月にも「一般社団法人F i t システム協議会」(仮称)を発足し、組織を移行させたい考えだ。

昨年8月、会員代表者に対して一般社団法人格取得の是非についての意見集約を行い、ほとんどの会員代表者から賛成意見を得たことで準備を開始した。一般社団法人格取得時の理事および監事は幹事委員会から選出する見込みで、事務局は幹事委員会による持ち回り制を検討する。

F i t システム協議会は特積み会社など19社(1月4日時点)が加盟する任意団体で、昨年

3月末に解散した日本路線トラック連盟の会員間貨物追跡システム「貨物情報TCシステム」(Freight Information Transfer Center System、略称・F i t システム)事業を引き継ぎ、昨年4月より活動してきた。ただ、任意団体としての運営には制約も多く、スムーズな団体運営の実現などを目的に、一般社団法人格を取得する方針とした。

なお、1月4日現在の会員は幹事委員会会社のほか、札幌自動車運輸、松岡満運輸、日通トランスポート、中越運送、新潟運輸、福井貨物自動車、エスラインギフ、トールエクスプレスジャパン、四国運輸、宇和島自動車運送、シンヨ一運輸、ウインローダー。幹事長には路線連盟貨物情報TCシステムワーキンググループで幹事長を務めた久留米運送経営管理部情報システム課の梅崎善彦課長が就任し、本部事務局は東京都中央区のトナミ運輸事務所内に置いている。 ■